

みずほCustomer Desk Report 2022/11/11 号 (As of 2022/11/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	146.42
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	146.20	1.0019	146.56	1.1378	0.6431
SYD-NY High	146.59	1.0222	146.74	1.1732	0.6631
SYD-NY Low	140.20	0.9936	143.29	1.1358	0.6388
NY 5:00 PM	140.95	1.0211	143.85	1.1710	0.6620

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,715.37	1,201.43	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	11,114.15	760.97	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	3,956.37	207.80	米国2年債	4.3280%	▲0.2526%
日経平均	27,446.10	▲ 270.33	米国5年債	3.9350%	▲0.3086%
TOPIX	1,936.66	▲ 12.83	米国10年債	3.8097%	▲0.2879%
シカゴ日経先物	27,975.00	450.00	独10年債	2.0005%	▲0.1745%
ロンドンFT	7,375.34	79.09	英10年債	3.2875%	▲0.1585%
DAX	14,146.09	479.77	豪10年債	3.7610%	▲0.1460%
ハンセン指数	16,081.04	▲ 277.48	USDJPY 1M Vol	11.35%	0.20%
上海総合	3,036.13	▲ 12.04	USDJPY 3M Vol	11.51%	▲0.20%
NY金	1,753.70	40.00	USDJPY 6M Vol	11.25%	▲0.33%
WTI	86.47	0.64	USDJPY 1M 25RR	▲0.67%	Yen Call Over
CRB指数	282.12	2.34	EURJPY 3M Vol	11.56%	▲0.28%
ドルインデックス	108.21	▲ 2.34	EURJPY 6M Vol	11.64%	▲0.34%

東京	東京時間のドル円は146.20レベルでオープン。仲値にかけてドル買い優勢となったが、持続せず146.10付近まで反落。その後、再び上昇を開始したが146.36を高値に上値重い展開となると、日中の安値を更新し146.05まで下落。その後、米CPIを控えた様子見ムードが強く、動意乏しい推移となり146.23レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、146.23レベルでオープン。午後に米10月CPIの発表を控えてこう着状態が続いた。146.25レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米CPI結果発表を控えややドル買いが優勢となったことから146.59まで戻し、146.25レベルでNYオープン。注目の米10月CPIはヘッドライン、コア共に前回から低下し、予想も下回る結果となったことから、昨日5%台まで上昇していたターミナルレートが4.8%台へ低下する展開にドル円は主要なサポートとみられていた145円を一気に下抜けし、144円も抜け、143.17まで急落する。その後やや買い戻される局面もあったものの、ドルロングをカットする動きが継続し、今日の高値から5円超安となる141.48まで暴落する。その後買い戻しが強まり142.24まで戻すが、米金利の戻りが遅い中株式市場が大幅高で引ける動きに更にドル売りが強まり、ドル円は9/5以来のレベルである140.20まで下落し、140.95レベルでクロスした。一方、ユーロドルはCPI結果発表を控えドル売りが優勢となったことから0.9936まで下落し、0.9949レベルでNYオープン。朝方はCPI結果を受けたドル売りに1.0160まで上昇する。その後も米金利が低下する中、1.0185まで戻す。午後は1.0150付近での推移が続くが、終盤に掛け株高を受けたドル売りが更に強まり、一時1.0222まで戻し、1.0211レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:大橋・松木

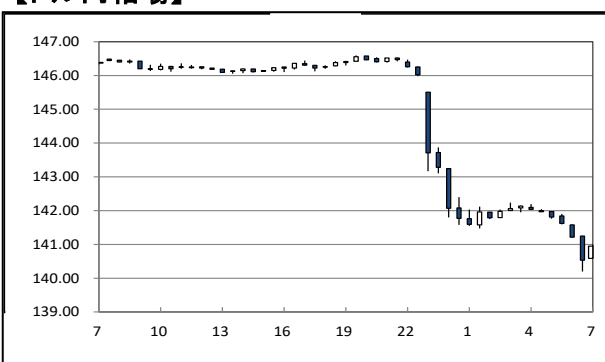
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月10日	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	10月 0.4%/7.7%	0.6%/7.9%
	22:30	米 CPI除食品・エネルギー(前月比/前年比)	10月 0.3%/6.3%	0.5%/6.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	5-Nov 225k	220k
	23:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	「政策金利を4.5%程度まで上げた後、一時的に停止する可能性」	
11月11日	02:30	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	「CPIではコアが緩和を示唆も、サービス分野などインフレは広範」	

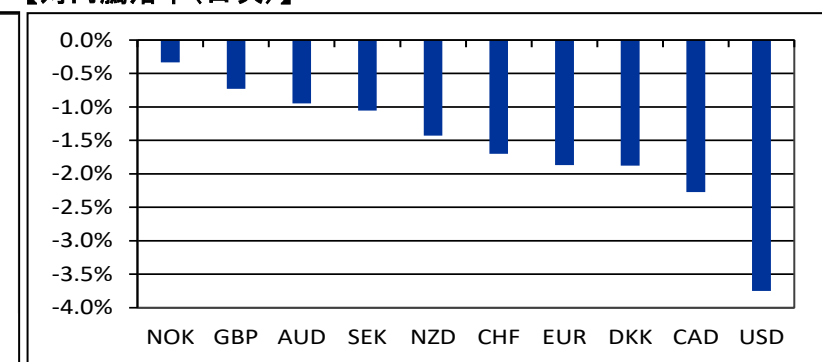
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月11日	16:00	英 GDP(前期比/前年比)・速報	3Q -0.5%/2.1%	0.2%/4.4%
	16:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	10月 0.9%/10.4%	0.9%/10.4%
	16:00	英 個人消費(前期比)・速報	3Q -0.5%	0.1%
	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	9月 -0.3%/-4.4%	-1.8%/-5.2%
	16:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	9月 -0.4%/-6.6%	-1.6%/-6.7%
11月12日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	11月 59.5	59.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.00-144.00	1.0000-1.0040	143.00-147.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は海外時間で急低下。東京時間のドル円は146.20レベルでオープン後、米CPIを控える中、146円前半半でのレンジ推移。海外時間では、注目の米10月CPIがヘッドライン、コア共に前回から低下し、市場予想を下回る結果となったことを受けて、米短中期中心に約20bp以上の金利低下となり、カーブはブルスティープニング、ドル円は144円を抜け、143.17まで急落。米金利の戻りがあまい中、9/5以来の140.20まで下落し、140.95レベルでクロス。本日のドル円は下落圧力が高まりやすい展開を想定。昨日の米10月CPIを受けて、12月FOMCの利上げ幅は50bpとの見方が強まったと考えられ、今後12月会合までに出てくる複数のデータを確認するまでは決め打ちはできないものの短期的には下値が警戒されるだろう。本日は、米債休場の中、ミシガンインフレ指標発表を控えておりボラティリティの高まりやすい展開を想定され、ミシガンインフレ指標が昨日に続き軟調な結果となった場合には、Fedの利上げ幅鈍化がより意識され、一段の下落が想定される。